

実技競技②「発泡入浴剤を作ろう」

次の各項目を確認し、安全に競技を行うこと。

(1) 確認事項

- ・実験は用意された白衣と保護めがねを着用すること。
- ・筆記具・腕時計以外は持ち込めない。 必要な器材はすべて各チームの机上に用意されている。
- ・粉末や溶液は、実験に十分な量が配布されている。不足した場合の補充はない。
- ・トイレへ行くなど、競技会場を出なければいけないときには、競技進行員に申し出ること。
- ・今回の実験は発泡を伴う。器具の破損、安全面での注意を受けた場合などは減点となることがある。

(2) 実験および安全に関する注意事項

- ・粉末や溶液は手などについても心配ない。タオルペーパーなどでふき取ること。
- ・実験中に怪我をした場合には、すぐに手をあげて係員に申し出ること。
- ・競技終了後に競技進行管理者の指示により、実験器具類の後片付けを行う。

(3) 競技に使用する材料や器具

- ・競技を始める前に、次のチェックリストで器材がすべてそろっているか、確認すること。
- ・過不足や不具合があった場合には、すぐに手をあげて係員に申し出ること。

都道府県名	チーム 番 号	
-------	------------	--

●チェックリスト

競技を始める前に、このチェックリストで材料、道具類がそろっているかを確認すること。 不足または不具合がある場合は、ただちに手を挙げて係員に申し出ること。

(共通)
□白衣 (人数分)
□保護めがね
□炭酸水素ナトリウム (重曹) が 100g 入ったプラスチック容器
□クエン酸が 100 g 入ったプラスチック容器
□粉末をはかるプラスチック皿(10枚)
□ 200 mL プラスチックビーカー (6個)
□薬さじ (プラスチック, 3本)
□プラスチック製かきまぜ棒(3本)
□洗びん(500 mL, 1個, 配布時は水は入っていない)
□精製水入りペットボトル (0.5L, 3本)
□ ぞうきん (1枚)
□ゴミ袋 (1枚)
□タオルペーパー (キムワイプ, 1箱)
□廃液回収用ペットボトル (1個)
□電子天秤 (電池式) 2台 (1台は実験1・2,もう1台 (キッチンメーター) は実験3で使用)
□定規(三角定規, 1本)
□電卓(1台)
□収納用トレー (色つき1個, 白1個)
□ A4 方眼紙 (3 枚, 審査の対象とはならない)
□ A4 コピー用紙 (5 枚)
(実験2)
□発泡入浴剤 10g の入ったチャック付きポリ袋
□リトマス試験紙(青3枚,赤3枚がそれぞれチャック付きポリ袋に入っている)
(宝驗3)

(実験3)

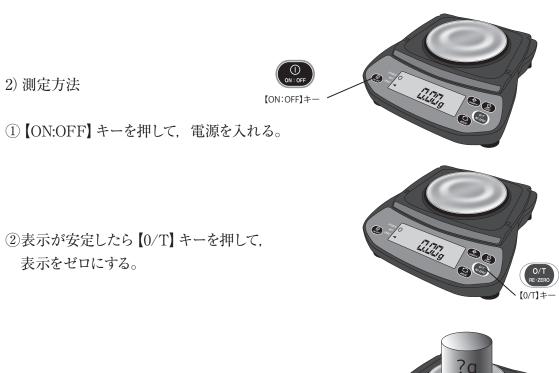
- □ふたまた試験管
- □ゴム栓・ゴム管が接続された気体捕集用の袋 (輪ゴムで折りたたまれている)
- □水色バケツ
- □水が満たされた 2L ポリ容器
- □試験管立て
- □実験用水槽



電子天秤の使い方

本競技で使う電子天秤では、100分の1gまで測定できる。以下に各部の名称と基本的な使い方を説明する。





③皿の上に計測したいものをのせる。 表示が安定したら、表示値を読み取る。



3) 測定方法(容器の重さを差し引いて測定する方法)

①【ON:OFF】キーを押して、電源を入れる。



②容器を皿の上にのせる。



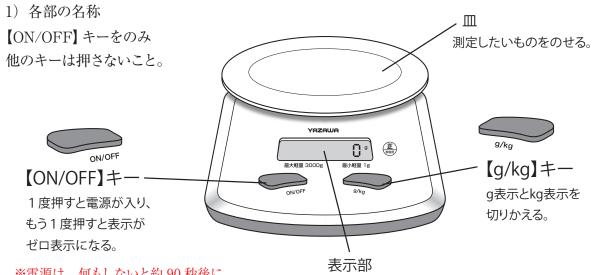
③表示が安定したら【0/T】キーを押して、 表示をゼロにする。



④容器に、計測したいものをのせる。表示が安定したら、表示値を読み取る。



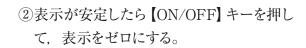
キッチンメーターの使い方

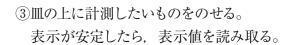


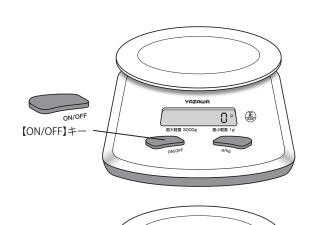
※電源は、何もしないと約 90 秒後に 自動で OFF になる。

途中で電源が OFF になった場合は、 測定の手順を始めからやり直す。

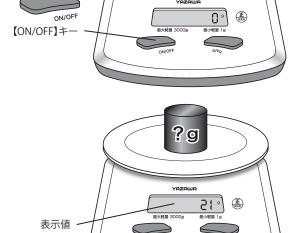
- 2) 測定方法
- ①【ON/OFF】キーを押して、電源を入れる。





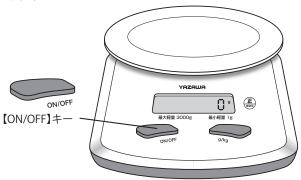


測定結果が表示される。



3) 測定方法 (容器の重さを差し引いて測定する方法)

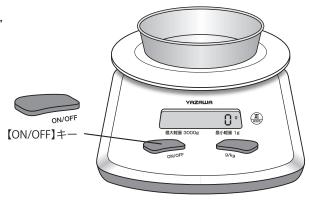
①【ON/OFF】キーを押して、電源を入れる。



②容器を皿の上にのせる。



③表示が安定したら【ON/OFF】キーを押して、 表示をゼロにする。



④容器に、計測したいものをのせる。表示が安定したら、表示値を読み取る。

※注意

約90秒後にオートパワーオフ機能により、電源が切れます。

